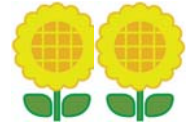


きょうどうニュース

市民と行政がお互いに力を合わせて、まちづくりに取り組んでいく「協働（きょうどう）」を目的に、岸和田市ではさまざまな取り組みが行われています。

今回は「こうすればうまくいく！ “市民会議”」の第 2 回目の様子についてご紹介します。

よい会議ってどんな会議?? ～今治市の事例を基に～



「よい会議ってどんな会議…??」、さて皆さんは何と答えますか？
「意見の言いやすい雰囲気での会議」、「意見を聞いてくれる会議」など様々な意見が出てくると思います。皆さんが担当している会議は、どうでしょうか？

愛媛県今治市では、市民の方が中心となっておよそ 1 年近くかけて、市が設置する審議会・委員会について、市民参加を促すために、どういう点を改善すればよいかという市民アンケート（約 1,200 名）を行い、市に対し提案を行いました。

今回は、今治市で行われた「審議会・委員会への 9 つの提案」を題材に、実践型のグループワーク研修を行いました。

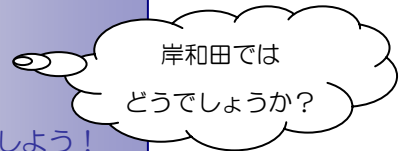


審議会・委員会への 9 つの提案（今治市編）

次の内容が市民アンケート等で出された意見です。参考までに…。

- 提案 1、公募委員の枠を広げよう！
- 提案 2、日時、議事回数等は市民ニーズを基準にしよう！
- 提案 3、会を設置する時は、広く情報提供しよう！
- 提案 4、行政と市民が役割分担をしながら運営しよう！
- 提案 5、市民の意見の効力を高め、権利を最大限にいかそう！
- 提案 6、傍聴制度の確立、会議録の公開、パブリックコメントを徹底しよう！
- 提案 7、会の成果を公開し、実際の取組みにつなげよう！
- 提案 8、必要に応じて庁内各部署が連携しよう！
- 提案 9、公共を担うパートナーとして学び合おう！

(市民参加のまちづくりを考える会調査による)



市民会議で大切な 5W1H ～一緒に進めていこう～

市民会議を行うにあたって、大切なことがあります。

それは 5W1H です。皆さん、学生時代に英語の授業を思い出して下さいね。5W とは (why, what, when, where, who)、1H とは (how) のことです。これらがバランスよく取られている事がすごく大事になってきます。

「会議の目的は何なのか?」、「何を決めなければならないのか?」など、会議の基本的な本質を忘れずに、参加している市民と一緒に学び、進めていくという気持ちも、とても大事なことです。また会議の中では、途中経過を示しながら進めていくことも、重要です。「今、何をしているのか」、「次は何を目指すのか」など、*ファシリテーショングラフィックを活用した進行も会議を円滑にする方法のひとつです。

*ファシリテーショングラフィック…模造紙等を活用しながら、文字・イラスト等で話し合いの内容を同時進行で記録しながら進めていく方法。耳でとらえた情報がすぐに視覚の情報になるので、参加者同士の情報共有を可能にしたり、新たな発想を生み出すのにも効果的な手法。

